



合言葉は「パッション」の  
私にしかできない酪農をする!

(株)マドリン  
すみくら まどか  
角倉 円佳さん

広尾町

# 農を拓く、 女性たち。

働き方が変わりつつある農業分野で  
活躍する女性たちが今、増えています。  
彼女たちが、ぶつかった壁。  
彼女たちが、拓いた道。  
3組の女性たちへのインタビューを通して  
見てきたのは、農業の未来でした。

- 「目次」
- 01 「特集」農を拓く、女性たち。
  - 07 キラリ★農業系高校
  - 09 ふれあいファームへようこそ
  - 13 農のある暮らし
  - 15 コンファ農業教室
  - 17 道産食材の極上レシピ
  - 18 北海道からのお知らせ
  - 19 教えて!もっとおいしく食べるコツ



**家を離れて気づかされた  
なりたい自分像**

十勝の南に位置する広尾町にある牧場。この入り口に掲げられた看板のメッセージは「NO PASSION NO MADELYN」。直訳すれば「情熱がないのはマドリンじゃない」。牧場主である角倉円佳さんの酪農に対する思いが熱く溢れ出ている。

「酪農の家に生まれましたが、中学生まで酪農の手伝いが大嫌いでした」。逃れたい一心で帯広市内の高校へ入学。家から離れて暮らす中で、「漠然と自分がしたい仕事を見つけて、働く女性でいたいと思うようになりました」。

高校卒業後、両親が出会った場所でもある帯広畜産大学の別科(酪農専修)に入学。理想の農業を目指して、十勝にやってきた仲間に出会い、自分の環境が恵まれる

「牧場のボスが女性で、本当にかっこいい人でした。いつも前向きで夢を語るボスの生き方に憧れました」。家族で分担するのではなく、女性一人でも酪農ができるワークスタイルにも感激し、2年半後に帰国。実家の牧場で経験を積んだのち、別の酪農家の牛舎を借りる形で、30頭の牛と一緒に自分の牧場をスタートしたのは、24歳の時だった。

やる気全開で始動したが最初は思うようにはいかなかった。「自分の経験不足を実感しました。また女性が一人で酪農経営をすることに周囲の目は厳しかったです。チャンスを見逃したくない一心で、試行錯誤を繰り返して、温かい声をかけてくれる先輩や近隣の方に支えられながら乗り越えてきた」。

## confa [コンファ]

「confa」はConsumer(消費者=道民)とFarmer(農業者)のConsensus(合意)から名付けたもので、「消費者と農業者がもっとふれあえるように」「都市と農村をつなぐ架け橋になりたい」という想いを込めています。

農にまつわる情報を発信中!  
confa公式アカウント



Facebook Instagram

@confa.hokkaido

電子ブック公開中!  
Hokkaido ebooks

QRコードをCHECK ▶

※スマートフォン、タブレットの方は専用アプリ(無料)をダウンロードのうえ、ご利用ください。



http://www.hokkaido-ebooks.jp

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。